

中期実施計画（平成30年度）の進捗状況に対する委員意見一覧

番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	意見 分類	事務局 案	備考
1	1-2	④遊休・荒廃 農地対策事業	評価がBとなっておりますが、これは最低評価でいいのではないのでしょうか。最低評価が「B」なのでしょう。	評価 意見	○	
2	1-2	⑥二宮せせら ぎ公園におけ るホタル観賞 会	評価説明の中で、「鑑賞会来園者数が目標値以上の数となっているためB評価とした」とあるがAではいけないのか。ホタルの出現数1500頭は天候に左右されるので評価指標として位置づけるのは疑問。むしろ、この体験を通して自然環境保全の理解を得ることができたかを評価すべきだと思う。	内容 意見	△	「1-2-⑥」に関する意見として次の意見との整合性をどうするか
3	1-2	⑥二宮せせら ぎ公園におけ るホタル観賞 会	H30取組みでホタル1,500頭、来場者数4,000人が雨天中止も含めた数値であることを考慮すると、例年より来園者数が多いことで、私は「妥当」と考えたいが、寛容な同様意見はなかったのでしょうか？	評価 意見	△	「1-2-⑥」に関する意見として前の意見との整合性をどうするか
4	1-3	①公共下水道 整備事業	目標を達成しているので、評価は「A」でよいのではないのでしょうか。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
5	1-3	②下水道の普 及促進	目標を達成しているので、評価は「A」でよいのではないのでしょうか。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
6	1-3	⑤葛川美化推 進事業	目標値1.5トンが達成できなかったとあるが、過去の実績を見ても1.5トン以下であるので、目標値を下げてよいのではないかと同時にボランティア団体の活動や町の啓発により、ごみが減少していると見てはいけないのか。団体の回収量が評価を分けているように思うので町民への周知等総合的に評価した方がよい。	評価 意見	△	「1-3-⑤」に関する意見として次の意見と統合してよいか
7	1-3	⑤葛川美化推 進事業	H30評価として1025kgのごみ回収の実績を示した上でB評価としているが、すでにごみが収集された後のために、数値が小さくなってしまったのではないのでしょうか？	評価 意見	△	「1-3-⑤」に関する意見として前の意見と統合してよいか
8	1-3	⑥葛川の再生 に向けた広域 的対策	H31年度に会の発展的解消を行うことは理解しましたが、30年度はサミットも実施しているようですので、「保留」ではなく、評価可能なのでは	内容 意見		
9	1-4	②松の保全事 業	目標を達成しているので、評価は「A」でよいのではないのでしょうか。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
10	1-5	①自然環境を 知るための講 座開催	3講座40人の目標値を達成してAとなっているが、子どもチャレンジ教室の参加者が6名と少ないことをどう評価しているのか。今後の計画に反映できるので少ない理由を説明するとよい。今後、夏休み自由研究講座として位置づけるなど、子どもが興味をもって参加しやすい時期や内容とする。	内容 意見	△	「1-5-①」に関する意見として次の意見と統合してよいか

番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	意見 分類	事務局案	備考
11	1-5	①自然環境を知るための講座開催	にのみや町民大学とこどもチャレンジ教室を開催して、H30には実績を伸ばしたが、将来的には受講者にアンケート調査を実施するなどして自然環境だけでなく社会環境への勉強をする活動へ深めていただきたいものです。	内容意見	△	「1-5-①」に関する意見として前の意見と統合してよいか
12	2-1	①ごみ減量化推進事業	中々目標達成が難しい状況が続いている。啓発活動は必須で十分対応していただいているが、推進するためには、具体的な施策(水分もうひとしぼり運動、生ごみ処理機等)にもう一工夫が必要がある。	内容意見	△	「2-1-①」に関する意見として他2意見と統合してよいか
13	2-1	①ごみ減量化推進事業	ごみの発生抑制の具体策が啓蒙啓発というだけでは、現状の改善は難しいと感じました。 奈良県生駒市が行政として普及をしている給水スポットの町内での拡充と周知、また京都府亀岡市内の商店などが取り組んでいる地域循環のシェアバッグなど、社会の仕組みそのものを変える取組みが具体策としてあるといいと感じました。	内容意見	△	「2-1-①」に関する意見として他2意見と統合してよいか
14	2-1	①ごみ減量化推進事業	地域環境推進委員を通じてのごみ減量化施策の推進とあるが地域にはまだまだ浸透していないように思われます。担当課が地区長会議で地域環境推進委員会議でのごみ減量化施策をプレゼンし地区長の理解を深め、地区全体に更に浸透すべく働きかけが必要と思われます。環境推進委員は地区の選出となっていますので。	内容意見	△	「2-1-①」に関する意見として他2意見と統合してよいか
15	2-1	②水分もうひとしぼり運動	環境づくりフォーラム等、啓発活動については大変良く実施されている。本件は、「ごみ減量化」達成のための具体的施策。 レジ袋を水きりネット化出来ぬか、マイバック不持参の方には有料で配布できぬか。	内容意見		
16	2-1	②水分もうひとしぼり運動	地域環境推進委員を通じてのごみ減量化施策の推進とあるが地域にはまだまだ浸透していないように思われます。。担当課が地区長会議で地域環境推進委員会議でのごみ減量化施策をプレゼンし地区長の理解を深め、地区全体に更に浸透すべく働きかけが必要と思われます。環境推進委員は地区の選出となっていますので。	内容意見	○	
17	2-1	③マイバック・マイボトル等の啓発	参加店舗が少しでも増加していることは評価できる。「No.23」項、完全にレジ袋をなくす事は難しいので、レジ袋を水きりネット化して市販している水切りネットと料金を統一する。	内容意見		
18	2-1	③マイバック・マイボトル等の啓発	ここでは町内店舗数の増減に一喜一憂することではなく、小学生にマイボトル、マイバックを活用する生活態度が次世代の環境保全活動の啓発の柱になることを理解させ、啓発することに価値があると思います。	内容意見	○	
19	2-2	②生ごみ処理機の導入促進	生ごみ処理機導入件数が目標値を達成でき、廃棄物の減量化、資源化に一定の成果が得られた事は評価できる。処理・生成した肥料が有効に使用される事が重用。ふれあい農園事業との連携強化をお願いする。大型生ごみ処理機の生成肥料が重要農家の使用可能な肥料レベルに出来るかが「生ごみリサイクルチェーン」達成には大きな課題だと思う。	内容意見	○	
20	2-3	②ごみ置場散乱防止対策(カラスネット配布)	カラスネットの配布・実施は極めて効果大。引き続き継続を希望する。ごみ置場の散乱が問題になっているが、ごみ置き場として独立、完備している所は散乱も無く大変効果的である。	内容意見	○	

番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	意見 分類	事務局案	備考
21	2-5	②食べ残しゼロ運動の推進	令和元年度から町内小中5校に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールが始まった。「トライ！エコチャレ」をこの活動に組み入れられるかを協議会に働きかける。	内容 意見	◎	コミュニティスクールでの周知に関する意見として全体意見に纏めてよいか
22	3-1(2)	②ムダな電力消費等の節約啓発	目標に対する実績から、評価は妥当と言えるが、そもそもの目標値が余裕を持った値なのでは、と少々疑問を感じた。	評価 意見	○	
23	3-1(2)	②ムダな電力消費等の節約啓発	令和元年度から町内小中6校に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールが始まった。「トライ！エコチャレ」をこの活動に組み入れられるかを協議会に働きかける。	内容 意見	◎	コミュニティスクールでの周知に関する意見として全体意見に纏めてよいか
24	3-1(2)	③地球温暖化防止運動の啓発	今回の評価は妥当である。今後は、評価＝回数ではなく、啓発活動によって、どのような効果が得られたのかを明確にできるような、目標値の設定を考えた方がよいと思う。	評価 意見	○	
25	3-1(2)	④エコカーの導入(電気自動車等導入検討)事業	平成30年度の評価としては、目標値を達成したのだからAでもよいのではないかと。他が単年度評価であれば、平成30年度も単年度としての評価にするべきではないかと。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
26	3-1(2)	④エコカーの導入(電気自動車等導入検討)事業	評価は「A」でよいのではないのでしょうか。最終目標を達成していないから「B」であれば、他項目も統一すべきです。たとえば「No.19」など。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
27	3-1(2)	⑥環境負荷の少ない交通の利用促進	平成28年度、29年度の評価が高すぎたのだろう。平成30年度の評価は妥当だと思う。全体を通して見たとき、48→74と増えたにもかかわらずBというのは整合性がないように感じる。(毎度、今後の課題が常に先送りされているように感じる。具体的な策とそれに対する結果も公表してもらいたい。)	評価 意見	◎	過去への評価を含むため、対象外としてよいか
28	3-1(2)	⑧自然エネルギーに関する情報収集・提供	目標を達成しているので、評価は「A」でいいのではないのでしょうか。	評価 意見	◎	評価方法の統一化に関する意見として全体意見に纏めてよいか
29	3-4	①側溝や集水溝の補修・清掃(かん水防止)	目標値に届かなかったのは、実績値の数字で十分だったからなのか、それとも必要な箇所まで手が回らなかったのか、詳細が分からない。今後は目標値の設定の根拠を示してもらえると、評価が妥当かどうか判断しやすくなるのではないかと。	評価 意見	◎	評価の詳細の明確化についての意見として全体意見に纏めてよいか
30	4-1	④商店街等との連携による環境に関するシステムづくり(買い物かご持参による優遇措置など)	評価説明の欄、「一定の成果」を具体的に記述する必要があると思います。	内容 意見	◎	評価の詳細の明確化についての意見として全体意見に纏めてよいか

番号	基本目標 基本施策	事業名	意見	意見 分類	事務局案	備考
31	4-2	②学校、住民、地区の協力、行政、教育委員会の連携推進	ダム視察が環境教育になっているという点が了承しかねます。これまでの慣例で実施を継続しているとお話でしたが、ダムがもたらす様々な悪影響を考慮するとSDGsの理念とは程遠いと感じます。	内容 意見		
32	4-2	②学校、住民、地区の協力、行政、教育委員会の連携推進	30年度実績の1回は各学校で1回実施したことなのか、それとも全体で1回なのか分かりにくい。また、後期実施計画に向けた課題の中で学校でのダム見学を事業として位置付けることは疑問に思う。事業内容・取り組みはあくまで町が主体として行うのもであると思う。町主体の出前講座等により、ダム見学が発展として行われたのであれば評価説明に記載すればよい。	内容 意見		
33	4-3	②町民参加による環境教育	後期実施計画に向けた課題として、児童生徒の安全面から廃止の方向にあるが、子どもたちの地域清掃への参加は大切なことであるので今後どこにどのように位置づけるか考える必要がある。	内容 意見	○	
34	4-3	③小中学校と環境保全団体等との連携による住民参加型環境教育の実施	令和元年度から町内小中7校に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールが始まった。「トライ！エコチャレ」をこの活動に組み入れられるかを協議会に働きかける。	内容 意見	◎	コミュニティスクールでの周知に関する意見として全体意見に纏めてよいか
35	4-3	④高齢者等の協力により、町の歴史や生活の変化を語り継ぐ機会づくり	「No.20」と事業計画や取り組み重なっている。各事業内容に応じた講座を開催する必要がある。	内容 意見	△	後期計画で対応済みであるが意見とするか